豊水っ子だより

《校訓》ゆたかに　かしこく　たくましく

第３号
令和3年6月21日
豊水小学校

6月は「心のきずなを深める月間」です

熊本県は、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、「熊本県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための施策として、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を自覚し、相互に補完し合いながら、地域ぐるみでいじめを許さない学校・学級づくりに向けて取り組む気運を高めるとともに、児童生徒が主体となる取組を学校、家庭及び地域が一体となって支援することとしています。また、昨年度に引き続き、児童生徒等間において、新型コロナウイルス感染症を理由とした差別やいじめ等の発生が危惧されるため、このことの未然防止等に向けた適切な対応も求められています。

本校でも6月を「心のきずなを深める月間」と定め、いじめの未然防止に重点を置いた総合的な対策を推進しています。いじめ問題や自殺問題等の報道が新聞などでも見られますが、「命の大切さ」を教育の最重要課題として位置づけ、一人一人の子どもの理解をさらに深めるため、「心のアンケート」を実施し、それをもとに全ての児童に、担任が中心となって教育相談を行っています。子どもたちが安心して居心地のいい学校にするためには、まず、児童が悩みを相談しやすい学級の雰囲気づくりが必要です。学校・家庭がいっしょになって、子どものサインに気づけるよう最善の努力をしていきましょう。

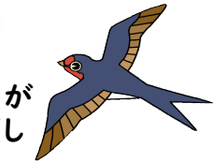
学校での取組の一部を紹介します

○タマにゃんチェック（毎月）　○親子で作ろう人権標語　○生活アンケート
○ふれあいタイム～担任との教育相談～　○ありがとうカード掲示「ありがとうの木」
○人権学習　○人権教室開催(6/25)　○なかよしスローガン決め～各学年・全校～
○今月の歌「ありがとうの花」

家庭でも次のような取組をお願いします

○家族の触れ合いの中で、子供が自分の思いを出せる機会を持てるようにする。
○感動を共感できる機会としての自然体験活動、スポーツ活動、親子読書等に取り組む。
○子供自身の自尊感情や自己有用感を高めるような日常の言葉かけを行う。
○「くまもと家庭教育10か条」を家族で見直す。
○家族で地域活動に参加する。
○携帯端末の使い方について話し合う。

豊水の自然探訪 ～ 「愛鳥週間」にみつけた鳥たち



もう1ヶ月ほどたってしまいましたが、5月には愛鳥週間（5/10～5/16）がありました。愛鳥週間が決められたのは、今から約70年前（1950年）でした。鳥をかわいがり、大事に守ろうという考えからです。

日本の野鳥は、400種類以上もいるそうです。その中でいつも日本にいる鳥を留鳥、渡ってくる鳥を渡り鳥と呼んでいます。渡り鳥には、暖かい春に南の国から飛んでくる夏鳥、秋に北の国から飛んで来て冬を越す冬鳥がいます。今は、ツバメをはじめとして、次々に夏鳥たちが渡ってきているところでしょう。この夏鳥たちは、秋になると南の国へ帰ってしまいます。

皆様の家の近くではどんな鳥が見られますか。わが家（天草）の周りでは、近所の草むらでよくキジを見かけます。数年前は親子で列を作って歩いているのが見られたのですが、最近はその子キジたちが立派に成長したのか、あちこちで「ケーン、キェーン」と鋭い鳴き声と力強い羽音を聞かせてくれています。その声と羽音で自分の存在を誇示しているようです。また、テリトリー（縄張り）があるのか、それぞれが鳴いている場所は大体決まっているようです。そのうちキジの親子の行列が何組か見られるかもしれません。また鳥とはちがうのですが、夕暮れ時になると、コウモリも飛び回っています。過去には、換気口の穴づたいに3匹のコウモリが部屋に入りこみ、捕獲に一騒動したこともありました。

ここ豊水小でも、運動場や校舎の周辺で、いろいろな鳥を見かけたり、珍しい鳥のさえずりが時折聞こえたりします（旧校舎のトイレにはコウモリ防止のネットもかけてありますし…）。私が玉名・豊水小に来て、最初に珍しいなと思った鳥が、カササギです。朝の登校指導で北側の消防小屋近くの横断歩道に立つのですが、付近の電信柱のてっぺんにとまり、つがい（雄雌）で鳴き合っています。黒いカラスに比べてひと回り小ぶりで、胸とお腹の白い鳥です。一般にはカササギといいますが、「カチカチ」という鳴声から、佐賀ではカチガラスとも呼ばれ、佐賀の県鳥に指定され親しまれているそうです。ひと回り大きいカラスに向かっていき、追い払ったりするので、とても気が強そうです。

気をつけて見てみると、この他にもたくさんの種類の鳥がいるのではないでしょうか。子どもたちにも、鳥に目を向け、鳥と友だちになって、優しく守っていこうという気持ちをもってもらいたいものです。

親子でできる「楽しい学習遊びゲーム」紹介①

階段言葉パズル

①右のように階段状の枠を作り、ひらがな1文字を枠の一番上のマスに書く。
②そのひらがなで始まり、1文字ずつ増えていく言葉をどんどん考え、階段を増やしていく。
※階段の向きを上下反対にして、下そろえの階段言葉にしてもよい。

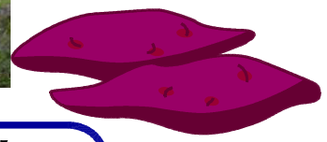
あ	あ	あ	あ	あ	あ
		さ	し	り	
		っ	た		
		て			

学校便り「豊水っ子だより」はホームページにもアップされています。その他、随時学校の様子をお知らせしますので、そちらもご覧ください。右のQRコードをスマホ等のリーダーで読み取り、表示されたURLをクリックすると、豊水小学校ホームページへつながります。

https://es.higo.ed.jp/toyomizu/

すくすく育て、さつまいも！（苗植え）

５月28日（金）、サツマイモの苗植えを行いました。今年度は感染症対策で各学年ごとに時間をずらして行いました。5月の中頃に5年生がマルチを張ってくれた畝に、どの学年もていねいに植えていました。6年生は1年生のお手伝いもしてくれました。秋の収穫が楽しみですね。



プール掃除、そしてプール開き～水泳の学習スタート！

６月２日（水）プール掃除を行いました。前日に職員数名が事前の片づけ・掃除を行っており、さらに当日は保護者２名（桑本様、高木様）にもご協力いただき、それぞれに高圧洗浄機を持ってきていただき、また子どもたちも一生懸命に取り組んでくれたおかげで、予定よりはやく作業を終えることができました。そして水を注入し、翌日にはきれいな水がキラキラ輝くプールになりました。

６月８日（火）には、プール開きが行われました。感染症対策で全校でそろってのプール開きではなく、低中高学年の２学年ずつで行いました。子どもたちはプールに入るのを楽しみにしているようです。水泳の学習は命を守ることにつながります。そして、自分への挑戦でもあります。心も体もしっかり鍛えてほしいです。水の事故に遭わないように、水泳の学習をしっかり頑張っていきましょう。

豊水小学校・豊寿会（敬老会）合同「春の花苗植え」

春（4月20日）に全校児童で種まきをしました。それから、児童は約2か月かけて、それぞれ自分のまいた種の器を管理しました。しっかり芽が出るように見守り、芽が出てからは、すくすく大きくなるように水やりや肥料やりをみんなでがんばり、そして大事に大事に一苗ずつポットに移植してくれました。その甲斐あって、ここまでずいぶん大きくなったのです。

６月14日（月）、5・6年生が豊寿会（小野尻老人会）の方々といっしょに花の苗植えを行いました。5年生は正門入り口、6年生は南門入り口の花壇に分かれて植えました。

私が4月に豊水小学校に赴任して、まず初めに思ったことは、豊水小がきれいな花でいっぱいの学校だということでした。「どうしたらこんなに花いっぱいになるんだろう？」と思っていましたが、その答えが分かりました。このように児童と地域の方々とが一緒になって、大事に大事に花を育てているからなんですね。

今回植えた苗も、たくさんのきれいな花を咲かせてくれるように、大事にお世話をしてほしいと思います。また、おいでいただいた豊寿会の方々をはじめ、ほかでも地域の様々な皆様方に支えて頂きながら、子どもたちも健やかに育っており、大変に有難く思っております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

地域のいろんなことを教えていただいています！

２年生は、小島と川島に町たんけんに行きました。地域学校協働活動推進員の米﨑先生の紹介により、小島では小島天満宮で神楽を舞っておられる地域の方から、特別に神楽で使う鬼のお面を見せてもらい、小島の地域の様子や、神楽のことについて詳しく教えてもらいました。また、川島では、豊寿会の会長さんにお会いし、川島のお宮や天満宮、川島小学校跡などを見学し、川島の歴史について教えていただきました。教科書では学べない郷土のことについて、直に見たり、聞いたりできるのは、とても貴重な体験です。子どもたちの学びのために、時間を割いていただき、大変ありがとうございました。

登校見守りボランティアの方からの贈り物

登校見守りボランティアの前川様には、毎朝、北側の消防小屋付近の横断歩道に立っていただいています。雨の日も風の強い日も、暑い日も寒い日も、かかさず立って見守っていただき、本当にありがたく思います。私もいっしょに立つようにしているのですが、先日、見守り活動が終わった後に、前川様から新聞の投書欄のコピーをいただきました。それには次のようにありました。

「礼儀正しい小学生に敬服（福岡県八女市　81歳の自営業の方からの投書）」

二十数年前から、小学生の通学路で登校の見守りをしている。集団登校の子どもたちはいつも元気にあいさつをしてくれる。入学したばかりの男の子が、私のそばで立ち止まって帽子をとり「おはようございます」と言ってくれた時には、私も思わず自分の帽子をとって深々と頭を下げた。私へのあいさつを忘れた下級生に、上級生が注意するほほえましい光景を目にすることもある。小学生の礼儀正しさには敬服する。毎朝の見守りは、私の「パワー」の源だ。

私はこれを読ませてもらい、豊水小の児童にも相通じるところがあると思いました。帽子をとってとまではいきませんが、上級生がしっかりと下級生を指導し、先に自分から元気な挨拶をしてくれる登校班がいくつもあります。さらに元気なあいさつ、礼儀正しい行動を広げ、地域の方々の「パワー」の源となれる豊水っ子になってほしいと思います。

7月の行事予定

○7月　1日（木）：人権学習旬間～14日
○7月　2日（金）：授業参観、学級懇談会
　　学校運営協議会
○7月　4日（日）：PTA美化作業
○7月　6日（火）：漢字計算大会
○7月　7日（水）：小中合同あいさつ運動
　　防犯パトロール
○7月　9日（金）：水俣に学ぶ肥後っ子教室
　　（オンライン学習）
○7月13日（火）：諸費納入日、委員会活動
○7月19日（月）：PTA朝の交通指導
　　地区児童会
○7月21日（水）：大掃除、全校集会
　　前期前半終了
○7月22日（木）：海の日
　　夏季休業日～8/26
○7月23日（金）：スポーツの日
○7月25日（日）：支館球技大会
○7月26日（月）：教育相談

※感染症等の状況によっては、予定が変更されることもあります。